

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2016年9月23日

[テーマ] 食べ物屋のリスト充実―「ただ乗り」で確実に―

気に入った食べ物屋さんがあれば、そこに通いつける。飽きるまで徹底的に通う。別に常連になりたいと思っている訳ではない。新しいお店を試して失敗することのリスクを回避したいのである。

ところが、転勤で新しい街にやってくると、同じようにはいかない。どうしても新しいお店を試さなくてはならない。そこでまずはインターネットで探してみるのであるが、複数のサイトでお店の情報を確認し、これならばと行ってみると全くの期待外れ。どうやら、私はインターネットとの相性が悪いようだ。

ではどうするか。素直に地元の方にお聞きするのである。私と異なり、お気に入りのお店をキープしつつ、新たなお店の探索を欠かさない人々がたくさんいらっしゃる。とりわけ群馬県にはニューオープンが大好きな人が多いらしい。私はそうした方々が試して良かったと言ったところだけに行く。情報の「ただ乗り」であるが、これ以上に確実なやり方を知らない。

先日も出掛けた先で、「今日の帰りに〇〇に寄ろう」「〇〇はおいしいけれど、行ったばかりだから、別の店がいいね」「それなら、近くに新しい店ができたから、試してみようか」といったやりとりが耳に入ってきたので、我慢できず、その人に聞いて「〇〇」はどこにあるのか尋ねてしまった。

ただ、親切な方がここもあそこもと教えて下さったりして、いつのまにか、薦めていただけだけれどもまだ試していないお店がたまってきたりしてしまう。そうすると、夏休みの宿題にまだ手を付けていないようで居心地が悪い。早く宿題をこなそうと、いつの間にか、薦められたお店のあるところに用事を作って出掛けていたりする。

そんなこんなで、お気に入りの食べ物屋さんの県内版リストがだいぶ充実してきた。ラーメン屋さんの数が多いのは、群馬が誇る「粉食文化」がうどんやそばだけでなくラーメンにおいても花開いているということか。思い返すと、朝7時から開店するラーメン屋さんに6時から並んだりしたこともあった。同じように開店を待つお客さんが県内だけでなく全国各地からやって来ていることに驚かされたものである。

- ▼ あなたは、飲食店情報を調べる際に、本・雑誌やインターネット（PC・携帯電話・スマートフォン）などを使っていますか。

使っている	76.1%
使っていない	23.9%

(注) インターネットアンケート調査。

2015年8月実施。

(出所) マイボイスコム株式会社

〔 日本銀行前橋支店長
 神山 一成 〕